



昭和小 第11号

校長室便り
文責
生田 文明

ふれあい参観日

十九日(水)、昭和小校区の老人クラブ皆さん、児童の祖父母の皆さん等に、本校に来校していただき、子どもたちの授業の様子を参観し、一緒に給食を食べていただきました。

一年生は、公共の場所での遊び方や公共物の使い方について、学習しました。また、二年生は、家族や友達に、短歌形式で「ありがとう」の気持ちを伝える学習を行いました。三・四年生は、「熊本の心」の副読本を用い、昭和の松田神社のお祭りにふれながら、地域行事や地域の皆さんとのふれあいの大切さについて学び、五・六年生は、「人生の金メダル」と題した柔道の山下選手の生き方から学ぶ学習を行い、皆さんにみていただきました。

参観された皆さんからは、道徳の授業で、「地域行事のよさについて教えていただきありがとうございます」という感想をいただきました。また、一方では、「緊張していたのでしょうか、子どもたちの発表の声が小さかったです。」とのご意見もいただきました。



授業参観後は、私(校長)から、学校での子どもたちの学習や生活の様子、本校で力を入れて「主体的な学習態度の育成」「コミュニケーション能力の育成」「基本的な生活

習慣の定着」について、取組を示しながら説明させていただきました。また、「幾多の苦難を乗り越え、ここ昭和

小校区を開拓、発展に導かれた皆さんの開拓魂を、昭和の次世代を担う子どもたちへ、ぜひ、引き継いでもらいたい。そのためには、これまでの経験、思い出をたくさん子どもたちに機会あるごとに話していただきたい。」と願いました。

子どもたちとの給食では、「おいしい。」「数十年ぶりの給食です。」「昔は、お弁当でした。」など、小学校の頃を思い起こされ、楽しい会食となりました。

ご参加いただきました皆さん、誠にありがとうございました。来年も行う予定です。是非、ご近所の皆さんをお誘いの上、たくさん地域の皆さんのご来校をお待ちしています。



命を守ろう

八代市では、二学期に入り、すでに四件の不審者事案が報告されています。また、日没が次第に早まる九、十月は、例年子どもたちを狙った「声かけ」や「わいせつ」事案が増える傾向にあります。そこで、十三日(木)に不審者対応の訓練を行いました。

「松田神社までの道を教えてください。」

「お家の人がけがをした。お母さんに頼まれた。一緒に病院に行こう。」

巧みに言葉かけをし、同乗させようとする不審者への対応の仕方について、実際に訓練を行いました。

自分と車との距離を保ち、不審な人だと思ったらすぐに逃げる。この逃げる時のタイミングがなかなか難しかったようです。

学校では、

○下校時も複数人で一緒に帰ること

○犯罪に巻き込まれない約束事

「いかのおすし」

いらない

のらない
おおえをあげる
すぐにげる
しらせる

○防犯ブザーの携行

を徹底させているところです。

各家庭でも、登下校時の危険箇所や不審者に声をかけられた時どうするかをもう一度、お子さんご確認ください。

